

心癒やすひとときを堪能
白石市民吹奏楽団35周年コンサート



6月2日、「白石市民吹奏楽団35周年コンサート～吹奏楽の楽しみ～」がホワイトキューブで開催されました。この日は、白石高等学校、白石工業高等学校の吹奏楽部の生徒と白石市民吹奏楽団の団員総勢約100人が演奏を披露。「オペラ座の怪人」など親しみのある楽曲など11曲を演奏。400人を超える来場者を感動で包み込みました。山田睦男団長は、「昭和53年に第1回定期演奏会を開催してから早35年。これからも、地元で根ざした活動を続け、次の世代につなげていきたいと思っています」と想いを込めて話していました。

1-2 「花は咲く」の演奏では、会場がひとつに 3_みんなに愛されるバンドを目指す山田団長 4_力強いピアノ演奏に会場が沸いた



東日本大震災の被災地を 復興願い自転車疾走!
Cycle Aid Japan 2013



▲軽快に自転車を走らせる参加者

6月1日、2日、8日、9日の4日間、31都道府県から延べ1,318人がエントリーし、東日本大震災の被災地(福島県・岩手県・宮城県)を自転車で走り復興を応援する「Cycle Aid Japan 2013」(一般社団法人自転車協会主催)が開催されました。

6月8日には、ホワイトキューブに到着した参加者を大鷹沢子ども太鼓の演奏などでお出迎え。最終日には、郡山市、猪苗代町、白石市から最終ゴール地点の福島市の四季の里を目指すコースに約430人が参加し、思い思いのペースで復興を願い自転車を走らせていました。



これからもおもてなしの心でお出迎え
「白石蔵王駅新幹線祭り」



6月8日、「仙台・宮城アスティネーションキャンペーン」に合わせ、「白石蔵王駅新幹線祭り」が同駅で開催されました。記念式典で東海林正年駅長は、「これからもおもてなしの心で観光客の皆さんを笑顔でお出迎えしていきたいと思っています」とあいさつ。ホームでは、3月に運行を始めた秋田新幹線の新型車両E6系「スーパーこまち」と、走行しながら新幹線の線路や架線などをチェックする電気・軌道総合検測車で、旅客列車として

運行されることなく、運行ダイヤも公表されていないE926形「イースト・アイ」の車両見学会が行われました。駅前広場や駅コンコースでは、ミニSLやミニ新幹線の試乗会、白石工業高校吹奏楽部の演奏、機械部によるロボット遊びやコマ対戦、白石高等学校女子弓道部による甲冑姿での射技実演、また、県南エリアの地場製品の販売などが行われ、家族連れなど5,000人以上の多くの人たちでにぎわいました。

和紙の魅力を後世に残したい
白石紙子創作和紙人形展

6月1日～16日まで、「白石紙子創作和紙人形展」が壽丸屋敷で開催されました。作品を制作したのは、柴田町の人形作家大槻幸子さん。鮮やかな模様が入った和紙「拓本染め紙」を重ねた創作人形約50点を展示し、本年は浮世絵を取り入れた意欲作も展示。和紙を張り、表面をくりぬいて和紙人形を配置した立体的な作品も展示されました。35年前に和紙人形作りを習い、本格的に人形作りを再開したのは5～6年前という大槻さん。そこから和紙を買い集める日々が始まり、ふと思い出したのが「白石和紙」。白石和紙の拓本染めを行う市内の紙子工房に依頼し、さまざまな色や型模様の紙を作ってもらったそうです。大槻さんは、「拓本染め紙は丈夫で色あせず、全体の色調を整えてくれます。これからは和紙の魅力を後世に、作品を通して伝えていけたらうれしいです」と話してくれました。

- 1_ 作品にはテーマに沿った屏風や傘を添えて華やかな雰囲気演出。小物にもこだわり抜き、自分で材料を選び制作!
- 2_ 浮世絵を取り入れた新作にも挑戦。人気を集めた
- 3_ 「和紙の魅力を伝えたくて作った作品」と話す大槻さん

